

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 コンドーテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,313	5.1	875	△1.8	901	△2.8	597	△5.0
2019年3月期第1四半期	13,613	9.5	891	23.6	928	24.2	628	27.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 587百万円 (3.1%) 2019年3月期第1四半期 569百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.31	22.25
2019年3月期第1四半期	23.50	23.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	42,309	26,993	63.7
2019年3月期	43,820	26,756	61.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 26,961百万円 2019年3月期 26,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,398	8.7	1,819	△3.2	1,851	△4.5	1,250	△4.5	46.65
通期	63,070	9.1	4,010	2.6	4,080	1.4	2,760	0.4	102.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	27,257,000 株	2019年3月期	27,257,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	440,675 株	2019年3月期	467,295 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	26,791,150 株	2019年3月期1Q	26,765,266 株

(注)株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2020年3月期1Q:39,700株、2019年3月期:39,700株)及び株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2020年3月期1Q:145,800株、2019年3月期:145,800株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等により世界経済の不確実性が高まっていることに加え、今秋に予定されている消費税増税等により、先行き不透明な状況も続いております。

当社グループ関連業界におきましては、一時弱含んでいた公共投資が底堅い動きとなり、住宅投資は概ね横ばいで推移する一方で、設備投資は機械投資に弱さがみられる他、一部資材の調達難や人手不足による物件の進捗遅れが解消されないなど、堅調な受注環境ながら一部に厳しい状況が存在しております。

このような状況のもとで、当社グループは新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、新商材の拡販などの営業活動を展開するとともに、海外市場への展開などの成長戦略に取り組んでまいりました。また、2019年2月にテックビルド株式会社を子会社化するなど、事業拡大を図っております。

以上の結果、テックビルド株式会社の売上高が寄与し、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,313百万円(前年同期比5.1%増)と増収になりました。

利益面につきましては、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が進んだことにより売上総利益率が改善したものの、テックビルド株式会社の子会社化に伴い販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は875百万円(同1.8%減)、経常利益は901百万円(同2.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は597百万円(同5.0%減)と減益になりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業資材>

前期に子会社化したテックビルド株式会社の売上高が寄与したことにより、当セグメントの売上高は8,371百万円(前年同期比9.2%増)となりました。利益面につきましては、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が進み、売上総利益率が改善したものの、テックビルド株式会社の子会社化に伴い販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は421百万円(同11.2%減)となりました。

<鉄構資材>

一部資材の調達難による物件の進捗遅れ等を受け、アンカーボルト、鉄骨部材、ブレースなどが厳しい状況で推移したことにより、当セグメントの売上高は3,835百万円(前年同期比2.0%減)となりました。利益面につきましては、人件費を中心として販売費及び一般管理費が増加したものの、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が進み、売上総利益率が改善した結果、セグメント利益は399百万円(同2.7%増)となりました。

<電設資材>

住宅系・店舗系の大口電気工事関連受注が減少したものの、昨年の全国的な猛暑の影響を受け、商業施設・工場・小中学校での空調機需要が堅調に推移するとともに、戸建住宅・マンション関連受注も好調に推移したことにより、当セグメントの売上高は2,107百万円(前年同期比3.6%増)となりました。利益面につきましては、引続き受注競争が厳しい状況の中、利益率を意識した全社的な営業活動の展開と仕入コストの削減努力により売上総利益率が改善したことに加え、販売促進活動の見直し等により販売費及び一般管理費が減少した結果、セグメント利益は52百万円(同97.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(43,820百万円)と比較して1,510百万円減少し、42,309百万円となりました。これは、商品調達機能のさらなる強化に伴うたな卸資産の増加等があったものの、法人税等の支払いによる現金及び預金の減少並びに売上債権の減少等を主因として、流動資産が1,242百万円減少したとともに、繰延税金資産の減少等を主因として、固定資産が267百万円減少したことによりです。

負債合計は、前連結会計年度末(17,063百万円)と比較して1,747百万円減少し、15,316百万円となりました。これは、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が1,652百万円減少したこと等によりです。

純資産合計は、前連結会計年度末(26,756百万円)と比較して236百万円増加し、26,993百万円となりました。これは、剰余金の配当350百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益597百万円の計上による増加があったこと等によりです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(61.0%)比、2.7ポイント改善し、63.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想におきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,133,693	9,502,428
受取手形及び売掛金	14,306,048	13,064,821
電子記録債権	1,759,968	1,611,454
商品及び製品	3,589,063	4,241,976
仕掛品	348,629	437,603
原材料及び貯蔵品	410,515	404,813
その他	694,050	732,745
貸倒引当金	△9,676	△6,272
流動資産合計	31,232,292	29,989,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,044,956	2,998,034
土地	6,140,938	6,140,938
その他（純額）	1,356,865	1,352,739
有形固定資産合計	10,542,760	10,491,712
無形固定資産		
のれん	452,370	441,061
その他	596,451	582,727
無形固定資産合計	1,048,821	1,023,788
投資その他の資産		
その他	1,005,235	812,794
貸倒引当金	△8,887	△8,239
投資その他の資産合計	996,347	804,555
固定資産合計	12,587,930	12,320,056
資産合計	43,820,223	42,309,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,596,694	3,393,316
電子記録債務	8,233,936	7,711,900
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	156,627	129,514
未払法人税等	764,930	141,037
賞与引当金	716,886	351,317
販売促進引当金	—	13,020
その他	1,646,998	1,723,025
流動負債合計	15,546,073	13,893,132
固定負債		
長期借入金	242,363	220,404
役員退職慰労引当金	4,050	—
株式給付引当金	40,156	56,528
退職給付に係る負債	978,562	900,033
その他	252,320	246,414
固定負債合計	1,517,453	1,423,380
負債合計	17,063,526	15,316,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,434,555	2,434,555
利益剰余金	23,348,008	23,590,902
自己株式	△410,910	△390,526
株主資本合計	28,038,137	28,301,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,454	195,330
繰延ヘッジ損益	△2,061	△13,294
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	25,858	26,881
退職給付に係る調整累計額	△41,363	△37,547
その他の包括利益累計額合計	△1,328,964	△1,339,482
新株予約権	47,523	31,181
非支配株主持分	0	0
純資産合計	26,756,696	26,993,114
負債純資産合計	43,820,223	42,309,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	13,613,485	14,313,945
売上原価	10,645,021	11,096,990
売上総利益	2,968,464	3,216,955
販売費及び一般管理費	2,076,884	2,341,308
営業利益	891,579	875,646
営業外収益		
受取利息	370	565
受取配当金	1,744	1,824
仕入割引	35,479	33,134
雑収入	19,210	13,378
営業外収益合計	56,806	48,902
営業外費用		
売上割引	14,525	16,352
支払利息	212	2,024
雑損失	5,507	4,285
営業外費用合計	20,245	22,662
経常利益	928,140	901,887
特別利益		
固定資産売却益	1,749	29
特別利益合計	1,749	29
特別損失		
固定資産除却損	0	954
特別損失合計	0	954
税金等調整前四半期純利益	929,890	900,961
法人税、住民税及び事業税	168,209	115,027
法人税等調整額	132,690	188,273
法人税等合計	300,899	303,301
四半期純利益	628,990	597,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	628,990	597,660

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	628,990	597,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81,180	△4,124
繰延ヘッジ損益	24,187	△11,233
為替換算調整勘定	△6,882	1,023
退職給付に係る調整額	4,381	3,815
その他の包括利益合計	△59,494	△10,518
四半期包括利益	569,496	587,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569,496	587,141
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	7,664,706	3,913,593	2,035,186	13,613,485	—	13,613,485
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,215	25,837	10,754	136,807	△136,807	—
計	7,764,921	3,939,430	2,045,941	13,750,293	△136,807	13,613,485
セグメント利益又は損失(△)	474,845	388,734	26,542	890,122	1,457	891,579

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,457千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	産業資材 (注1)	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,371,124	3,835,280	2,107,540	14,313,945	—	14,313,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,442	17,058	14,342	80,844	△80,844	—
計	8,420,567	3,852,339	2,121,882	14,394,790	△80,844	14,313,945
セグメント利益又は損失(△)	421,808	399,092	52,374	873,274	2,371	875,646

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の産業資材の421,808千円には、のれんの償却額11,309千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2,371千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。